

たもん ちょうせん
多門さんに挑戦！！



みぎ
 (右)



ひだり
 (左)

やまうち たもん しょうちくばい
山内 多門「松竹梅」

みぎ ひだり よこ なが え へや
 右と左に わかれた、横に長い絵。部屋の しきりや かざりに
 つか かたち さくひん
 使う「びょうぶ」という形の 作品です。
 みぎ たけ うめ ひだり まつ き すみ しょく えが すみ
 右に 竹と梅、左に 松の木が、墨1色で 描かれています。墨
 の こい・うすい、せん ふと ほそ いろ
 の こい・うすい、線の太い・細いの ちがいで、色の ちが
 ちか とお えが わ
 いや 近くにあるもの・遠くにあるものを 描き分けています。

やまうち たもん
山内 多門 (1878-1932)

みやざきけんみやこのじょうろ にほんが か どうきょう にほんが
 宮崎県都城生まれの日本画家。東京で日本画を学び、いろいろな
 てんらんかい しょう と にほんびじゅつ ひどり かつ
 展覧会で 賞を取りました。日本美術のリーダーの一人として活
 くし、くに ひら てんらんかい しんざいん
 くし、国が開く展覧会では、審査員も つとめました。
 やま かわ ふうけい えが さんすいが とく
 山や川などの 風景を描く「山水画」などを得意としました。